

西日本を中心にした豪雨災害について

この度の大雨災害により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

J A建物共済にご加入の皆様へ

J Aまにわでは、建物共済へご加入の皆様在所へ職員が被害の有無の確認に巡回しておりますが、被害の大きさから確認作業の遅れが生じる懸念があります。

J A建物共済に加入し、被害に遭われている方で、職員の訪問を受けていない場合は、最寄の支所へ連絡いただきますようお願い申し上げます。

1日も早く日常が戻りますようお願いしております。

農産物被害について

管内では大雨によりほ場の冠水被害が見られる地域がありました。以下のように対策を行ってください。

真庭農業普及指導センター

J Aまにわ

水稻

・冠水した場合、水面上に少しでも稲体が出ていれば被害が軽減されるので、水面から速やかに葉が出るように排水に努める。

・冠水した稲は退水後に水分を失いやすいので、葉が水面に出てからは、できるだけ新しい水に取り替えながら排水する。また、根が傷みやすいので、排水後の水温が上昇しないように注意する。

・冠水した稲は白葉枯病が発生しやすいので、防除を徹底する。

ナス・キュウリ

(1) 適期防除による病害回避

降雨、浸水により茎葉が傷ついているので、殺菌剤を散布し病害防除を徹底する（薬剤例：ダコニール1000、ベルコート水和剤など）。薬剤は株全体にたっぷりと散布する。また、泥などが付いている場合は洗い流す。

(2) 追肥

早期に草勢回復を図る場合には、薄い液肥の施用や葉面散布を行う。

液肥：くみあい液肥2号（500倍）など 葉面散布：メリット青（800倍）など

※固形肥料での追肥は避け、薄い液肥や葉面散布程度に留める。

白ねぎ

(1) 傾・倒伏の修正

白ねぎが倒れた場合は、早急に起こし株元へ軽く土を入れる。

※時間が経過すると、白ねぎが曲がったまま固定しS字状となる。

(2) 適期防除による病害回避

降雨、浸水により茎葉が傷ついているので、殺菌剤（例：ダコニール1000）を散布し病害防除を徹底する。薬剤は茎葉や株元にたっぷりと散布する。また、泥などが付いている場合は洗い流す。

(3) 追肥

早期に草勢回復を図る場合には、薄い液肥の施用や葉面散布を行う。

液肥：くみあい液肥2号（500倍）など 葉面散布：メリット青（800倍）など

※固形肥料での追肥は避け、薄い液肥や葉面散布程度に留める。

大豆

- ・滞水しているほ場では早急に排水する。

- ・また、生育遅延や根腐れを引き起こし、病害虫に対する抵抗性が弱まることから、病害虫の発生に注意し、適切な防除を行うこと。

- ・土壌の多湿状態が長期間継続すると、根系における酸素が不足し、根粒菌の活動が抑えられるため、天候の回復後、排水後のほ場の状況等を勘察し、中耕や培土を実施すること。

- ・湿害により、葉色や生育に不良の症状が見られる場合には、窒素の追肥により生育量の回復に努めること。

果樹

- ・停滞水を早急に排水し、病害の防除を徹底する。

- ・ハウス栽培では、施設内の温度が高くないよう換気に努める。

- ・裂果と腐敗果は見つけ次第除去する。

- ・べと病が発生しやすいので防除は薬剤散布だけでなく、再伸長する副梢の整理など耕種的防除を実施する。

野菜

- ・ 停滞水を早急に排水するとともに、支柱の補修を行い、誘引する。
- ・ 降雨後は速やかにべたがけ資材等を除去し、付着した泥は早急に洗い流すとともに、病害防除を徹底する。
 - ・ 果菜類で茎葉の損傷が著しい場合は、果実を被害程度に応じて摘果し、着果負担を軽減する。
 - ・ 株元が露出したり土壌が固まっていたら、天候の回復を待って株元へ土寄せを行い、畝全面を軽く中耕して通気性をよくする。
 - ・ 降雨による肥料の流亡が考えられる場合は、速効性の窒素や加里肥料を追肥する。草勢の回復を図る場合は、薄い液肥の施用や葉面散布が効果的である。
 - ・ 被害が大きく回復の見込みがない場合は、速やかに代替作物を選定して種子や苗を確保し、植え替え又は播き直しを行う。
 - ・ 傷口から病気に感染するのを防ぐため、殺菌剤を散布する。

花き

- ・ 滞水している場合は、早急に強制排水する。
- ・ 倒伏した株は早急に起こし、支柱、ネットを補強する。
- ・ 根が冠水した場合は、根の機能が弱っているため、葉面散布用肥料の散布を実施する。
 - ・ 高温で病害が発生しやすい状況が続くため、付着した泥を洗い流し、損傷した茎葉や花を取り除き、防除を徹底する。

畜産

①飼料作物（トウモロコシ、ソルガム）

- ・ 滞水している場合の早期排水を図る。

②糞乾燥ハウス

- ・ 破損した場合は、補修を早急に行う。ビニルが破れて雨水が入った場合は、堆肥舎に移し、オガクズ等で水分調整後、切返しを行う。

施設管理共通

- ・ 気温が上昇するため速やかに換気を行い、温度や湿度の低下に努める。

・施設が破損した場合は、補修を早急に行う。ビニルが破れて雨水が入った場合は、天候の回復を待って、速やかに殺菌剤を散布する。

建物共済について

勝山支所

0867-44-2661

美甘支所

0867-56-2620

蒜山支所

0867-66-2522

湯原支所

0867-62-2031

久世支所

0867-42-1120

落合支所

0867-52-1120

農産物について

勝山支所経済課

0867-44-5566

美甘支所経済課

0867-56-2757

湯原支所経済課

0867-62-2038

久世支所経済課

0867-42-1123

蒜山営農経済センター

0867-66-2540

落合宮農經濟センター

0867-52-1122